

八乙女のクリサンセマム

for
adult
only
18

STEINS: GATE



恐れるな
ルカ子

例えその手に
五月雨がなくとも
清心斬魔流の精神は
しかとその胸に
刻まれている

はい
凶真さん

うおおお
巫女衣装の
なんとさう
愛らしさよ!

この極限まで
エロスを封印
された衣装は
逆にとさうか



るかー
どこいった?



よよしルカ子よ
今日もまた
こ恋人の契りを...

はい...



キサミには
感謝して
いますよ
鳳凰院くん



ボク
行きます!

使命を果たせ
我が
愛弟子よ!

チュッチュ
したかった...





清楚！可憐！
清廉！潔白！
その全てが
エロさを
引き立てる！



古来巫女さんは
娼婦を兼ねていて

神託を望む者は
巫女さんとエロい
ことをして神様と
交信していたのだぜ

つまり巫女さんを
エロい目で見る
のは至極全うな…

屁理屈を
言うな！



ええいダル！
神聖な巫女を
いやらしい
目で見るな！

それは無理
というものだお
オカリン！



そのエロゲ
ヒロイン全員巫女なんだが
隠しキャラであり
真のヒロインが
なんと男の娘！

！！



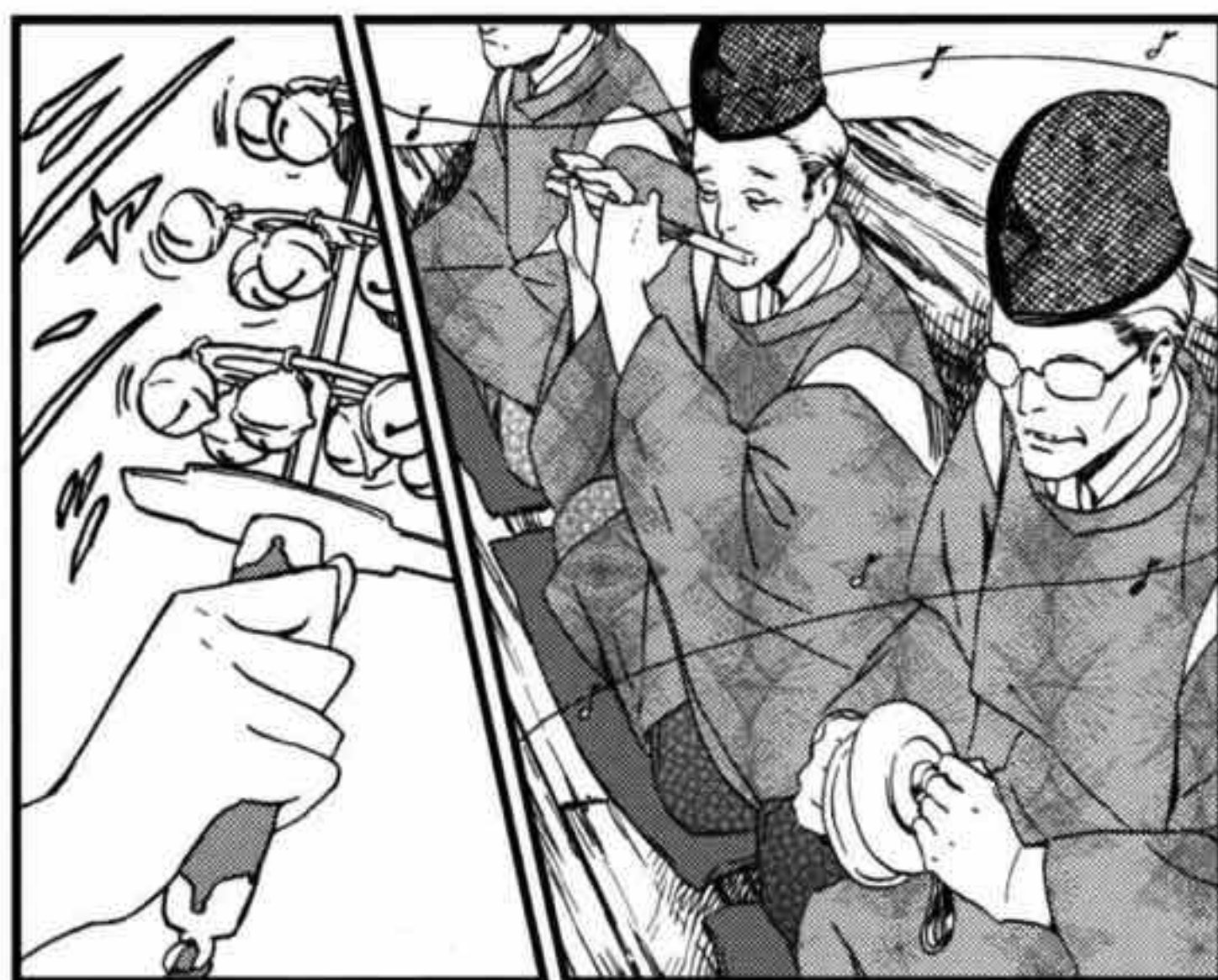
どうせそれも
エロゲから得た
知識だろう

さすがオカリン
話が早くて
助かる



舞台の上で
一枚一枚脱いで巫女舞を舞う姿を
村人達に視姦された巫女は……

熱く火照った身体を鎮める間もなく
巫女神堂へと連れて行かれ
そのまま一夜妻の儀式を……



一夜妻の儀式なんだ!?!
それは!?!

何を話したるか
このヘンタイ!

続きはウエブで



サーセン





クッ…
ダルのせい
俺まで変な
妄想を…



だがルカ子のやつ妙に扇情的で
いつにも増して匂い立つような
色気があるな…

なんとというかダルの言う事
も理あるような…



うるさい
岡部!

俺だ
たった今《機関》から
強力な精神攻撃を
受けた…!!



いいかん
煩悩退散!
煩悩退散!!







はあ

はあ

はあ

はあ

はあ



そうだ

ん...



もしかして...

一夜妻の儀式...
ですか？

はあ

はあ



巫女舞により
熱く火照った
身体に...

あん

主人公は優しく
ちづけを
します...



ああ...

巫女と一夜を
共にする...

あ

それは神託を
授かるための
秘められた儀式...



ですが主人公は
巫女に辛く
当たりました

キロ
キロ

はあ

ひゃ

はあ



月明かりに
照らされて
主人公は
気付きました



その巫女はなんと
長年探し求めて
だった少女
です…



何故なら
その少女は実は
男の子だった
からです…

ほ

ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ



愛した少女は
いなかった…

長年の想いは
強い愛憎へと
変わり

んツ

んんーツ!!



よくも
騙したな!



巫女ってのは
とんでもない
変態なんだない

なんだ?
人のを啜えて
興奮して
いるのか?

んふ

う...

ほら
しつかり
啜えろ!



んふ

んむッ

んぐ

んぐ

んぐ







お前は俺の
原風景を
汚したんだ！

それも言わば
これが元凶！
挽きつて
やる！



いやあ
またやう…ッ
あッ

あッ

あッ



や…

むいちや
ダメです…ッ

あッ

ちゅこ
ちゅこ
ちゅこ
あッ

くにくに



ダメ…
出…ッ
あああッ

あ…ッ

れる

ちゅ
ちゅふ
ちゅふ

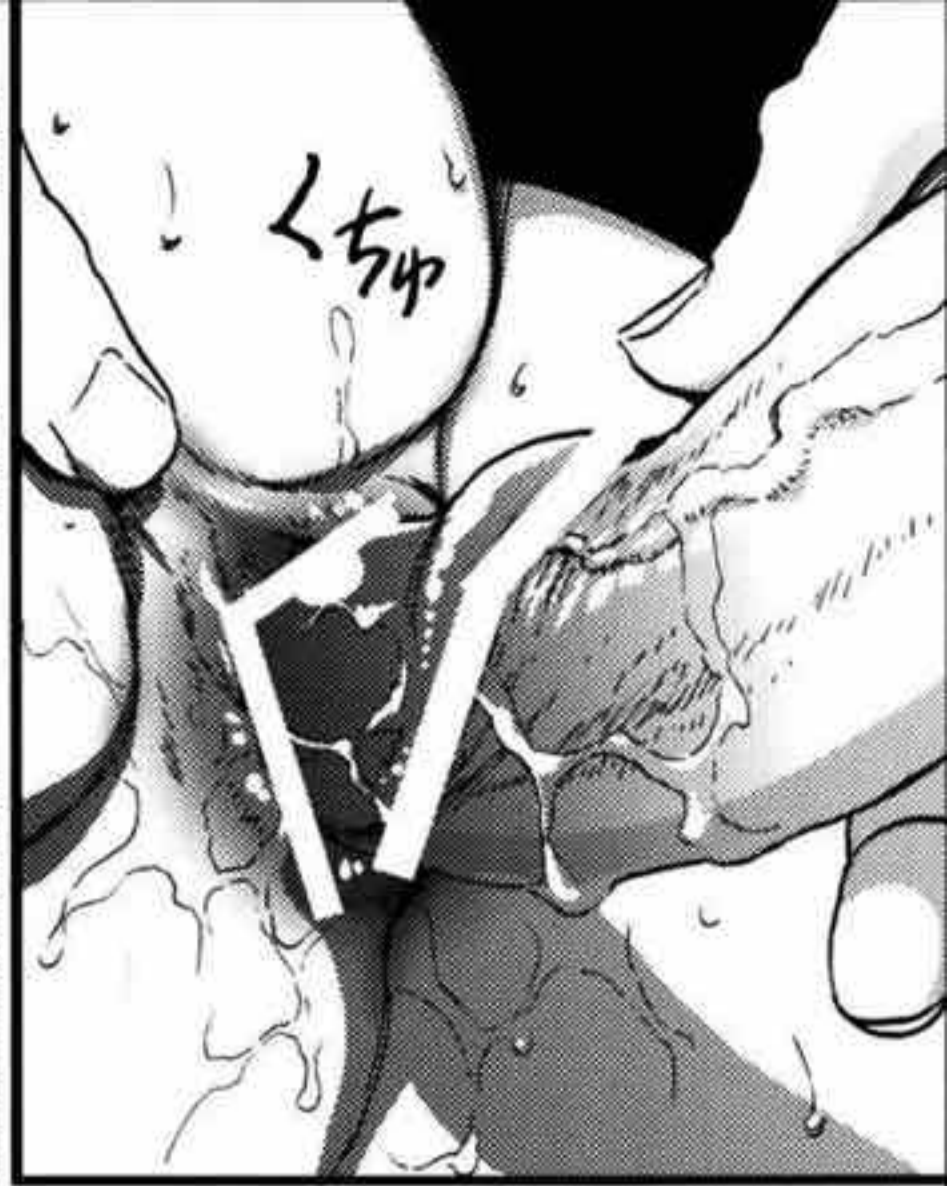
うあああ…ッ

あ

よした

ほち
ほち
ほち







はあ

はあ

あッ

主人公は…
い怒りのままに
ただ欲望を
ぶつけます…



うるさいぞ…

ハア

ハア



はあ

それで…もッ

はあ

それでも…
巫女には…くッ
嬉しい…事でした



あッ

あッく

はびし…ッ



それは…
強い想い…の
裏返しであり

はあ

はあ

少女として…
過ごした幼い頃の
み巫女を…
彼は確かに愛して
いたのだと…

はあ

あッ



そして…
近く…て遠く
感じていた人が
今は自分に気持ち
向けている…

それが例え…
負の感情であろうと
この上…ない喜び
だったのです…

あッ

あッ



出すぞ…ッ!!





はあ

はあ

はあ



あッ

そっ…

あッ

あッ



はあ

はあ









いくじなしの
フェティシスト

オカルカネタを考えているといつも行き着くのは「この二人はこの先どうなってしまうのだろうか?」ってこと。

異性愛者すら狂わせてしまうのがルカ子の魔性。とは言えやはりオカリンはどこまでいっても異性愛者。いずれ二人の関係はどこかで破綻してしまうのかも知れない。最後はきっとルカ子自らがオカリンを思って身を引くような…そんな流れで静かに終わる。そこまで想像して一人溜息をつく。うーんオカルカは悲恋がよく似合う。

そして疎遠になった二人が数年後再開なんかしたらとても切ない。付き合っていた頃は確かに少女のようだったのに今はもう何故付き合っていたのかわからないくらいに体つきも男性的で…。そう考えると男の娘って思春期少女よりも更に寿命が短くてその儚さがとても愛おしいと思う。ルカ子のそういうところに自分は魅力を感じているんだろうな。



八乙女のクリサンセマム

発行元 いくじなしのフェティシスト
発行人 いくじなしのフェティシスト
発行日 2013年11月03日
印刷所 金沢印刷様
連絡先 fetishist13@gmail.com
pixivID 3527226

